

宇部市新総合計画 基本構想

- 原案（一部） -

平成 21 年（2009 年）5 月

目 次

第 1 部 基本構想案をまとめるに当たって

- 1 基本的な考え方 _____ 2
- 2 策定に当たって _____ 2
- 3 今後の取組について _____ 3

第 2 部 基本構想案

- 第 1 章 大きな時代背景と社会環境の変化 _____ 6
- 第 2 章 本市の地域特性 _____ 10
- 第 3 章 まちづくりの課題 _____ 12
- 第 4 章 今後のまちづくりに向けたコンセプト _____ 16
- 第 5 章 まちづくりの基本理念 _____ 17
- 第 6 章 求める都市像 _____ 18
- 第 7 章 まちづくりのために _____ 21
- 第 8 章 主要指標の見通し _____ 27

第 1 部

基本構想案をまとめるに当たって

1 基本的な考え方

宇部市では、昭和54年に第一次総合計画を策定して以来、「人間が尊重され、活気とつるおいのある清新な都市づくり」を基調に、二度の改定を行いながら、市勢活性化と市民福祉の向上を目指し、現行の第三次総合計画に基づいて、重点戦略プロジェクトをはじめとした諸施策に取り組んでいます。

しかしながら、現行計画が策定された平成12年に、いわゆる「地方分権一括法」が施行されて以降、地方分権に向けた流れは本格化し、従来にも増して自治体の自立と責任が強く求められています。

また、近年の社会経済環境の大きな変化や、今後さらに進むと予想される総人口の減少、急激な少子高齢化など状況が刻々と変化している中で、宇部市が持続的発展を遂げるため、地域活性化につながる施策や個性あふれるまちづくりを推進することが強く求められています。

当審議会は、平成33年(2021年)を目標年次とした「新総合計画基本構想」について、市長から諮問を受け、「宇部市新総合計画」がこの大きな時代の転換期・分岐点に適切に対応し、『活力と魅力にあふれ、人や地域が元気になるまち』として発展するための指針となるよう、まちづくりに向けたコンセプトや基本理念、さらにまちづくりを進めるキーワードと戦略目標を明らかにするための審議を重ねてきました。

2 策定に当たって

昨今の社会経済情勢の変化が先行き不透明な状況であり、市財政の状況も厳しさが続く見込みであることから、「まちづくりへの新たな取組」と「取組の選択と集中化」という視点を重視して、基本構想案を策定しました。

また、策定後も新総合計画を市民と行政とが共有する「まちづくりの指針」としていくため、「協働」による策定を重視し、策定段階から、市民意識調査やワークショップなど様々な形で市民の皆様の御意見や御提案に耳を傾けながら、審議、検討を行い、次部のとおり基本構想案を取りまとめました。

3 今後の取組について

当審議会では、全体会議、分科会及び起草委員会を複数回開催し、様々な立場からの意見を交わしながら、あらゆる角度から検討を重ねてきました。

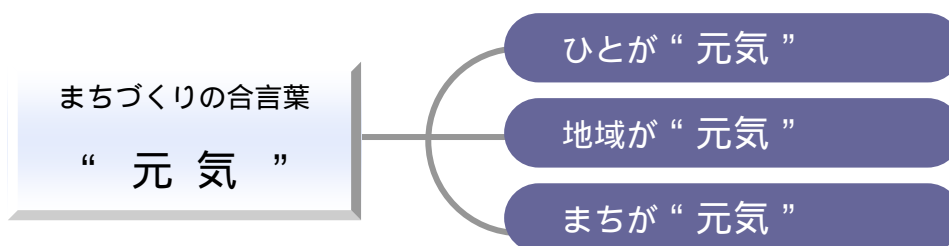
今後、市におかれましては、この答申をさらに検討され、市民の皆様の共感と支持を得られるような「第四次宇部市総合計画」を策定されるとともに、まちづくりの方針を市民と共有するため、情報の提供と説明責任をきちんと果たされるよう、求めます。

また、基本構想に掲げる理念や目標の実現に向け、重要度や優先度を慎重に検討され、前期実行計画において、具体的な施策とその目標を明らかにされるよう努められるとともに、市民その他の多様な主体との協働により積極的に、工夫を凝らしながら、市民の満足度の向上を目指し、各施策に取り組まれるよう、審議会の総意として切望します。

第4章 今後のまちづくりに向けたコンセプト

「まち」は、人が集まり、助け合いながら暮らしを営み、歴史を重ねて形作られてきました。

いつの時代においても、まちづくりの主演は「市民」です。本市を取り巻くまちづくりの課題解決に向け、市全体が一丸となってまちづくりを進めます。そのためには“元気”を合言葉に、まず「ひとが元気」になり、次に「地域が元気」になり、そして「まちが元気」になることをコンセプトとして、誰もが住みたい、住み続けたいと思う“元気”あるまちを目指します。



1．ひとが“元気”

本市のまちづくりを支える源は、市民一人ひとりの“元気”です。まちの課題を乗り越えるためには、市民がまちづくりの主演となって、まちの課題を共有し、まちづくりに参画していくことが必要です。みんなが“元気”な笑顔で、活力ある生活を送ることができるまちづくりを進めます。

2．地域が“元気”

ひとの“元気”が集まり、1つの共同体としてそれぞれの地域で抱えている問題に取り組むことが、地域の“元気”につながります。地域の活動やコミュニティを尊重し、地域から“元気”を発信することができるまちづくりを進めます。

3．まちが“元気”

ひとや地域の“元気”が交流・連携することの相乗効果により、“元気”あるまちへと成長します。また、市民や地域の課題に対しては市全体で共有し、助け合うことが必要です。市民や地域が一丸となって、まち全体が“元気”になるまちづくりを進めます。

第5章 まちづくりの基本理念

本市では、今日の宇部市を築き上げる理念であった「共存同栄・協同一致」の精神と市民宣言に基づく「人間が尊重される都市づくり」を宇部市民の永遠の請願として、これまでの総合計画基本構想において、まちづくりの理念に掲げてきました。

近年は、本市を取り巻く環境は、本格的な人口減少社会の到来や高齢化の進展、経済情勢の悪化など、本市のまちづくりにおいて、脅威となる外部要因がより顕在化してきています。

このような社会情勢にあっても、市民が一体となって本市の将来を築いていくことが重要であり、このまちづくりの理念の意義は大きく、本構想においても、これを堅持します。

まちづくりの理念

今日の宇部市を築き上げる理念であった「共存同栄・協同一致」の精神と「人間が尊重される都市づくり」の市民宣言を宇部のこころとして尊重する。

平和を愛する市民の自治意識の高揚と公共の福祉を尊重する。

市民生活優先を基調として、人間居住の総合的環境整備に努力する。

広域生活圏の中核都市として、周辺地域との相互努力・相互補完の上に立って先導的な役割を果たす。

「共存同栄・協同一致」

1921年11月1日の市制施行日に読み上げられた誓文五則の中の言葉。「皆が心をつにし、共に栄えていこう。」という意。

第6章 求める都市像

1. 将来の都市像

まちづくりの基本理念である「共存同栄・協同一致」「人間が尊重される都市づくり」を基本とし、まちづくりの合言葉である“元気”ある都市を、市民や地域、企業、行政が協働し、実現していくことが求められています。

市民一人ひとりや地域を尊重し、みんなが主役で“元気”を創造する都市を目指します。

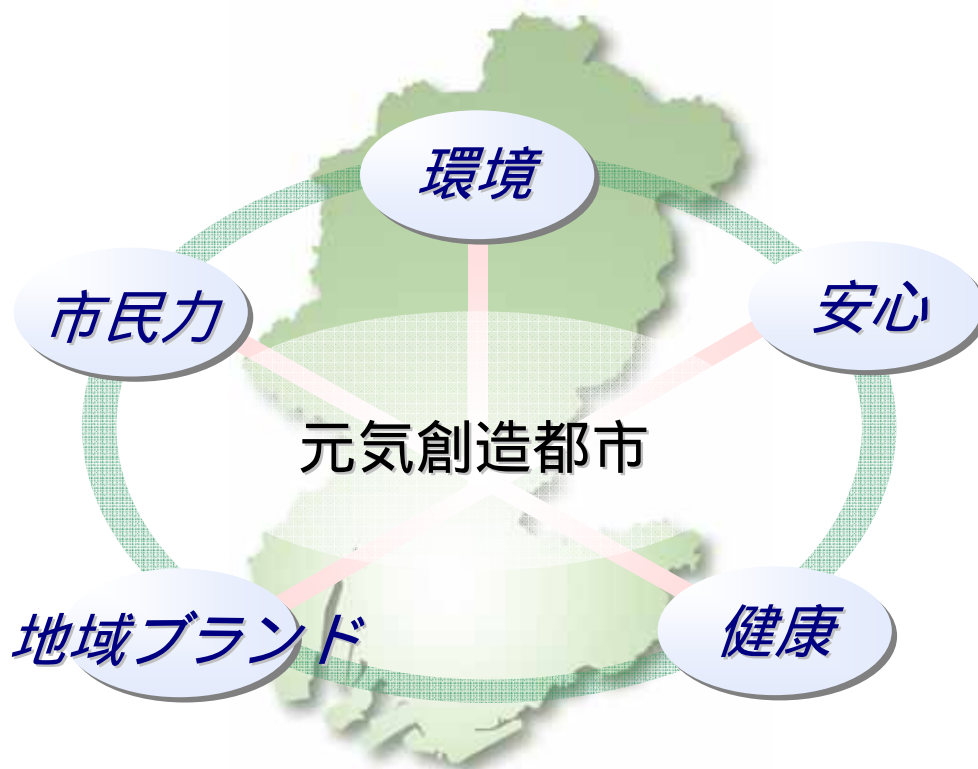
将来の都市像（案）

みんなで築く 活力と交流による元気創造都市

～地域資源を共有し、みんなの元気を発信する協働のまちをめざして～

元気創造都市を実現するためのキーワード

元気創造都市を実現するため、「環境」「安心」「健康」「地域ブランド」「市民力」の5つの視点をまちづくりのキーワードとして取組を展開することにします。



2 . 分野別目標

将来の都市像である“ みんなで築く 活力と交流による元気創造都市 ”に向けて、分野別目標を設定し、市民との協働によるまちづくりを進めます。

【生活環境分野の目標】

市民一人ひとりが宇部づくりの主角として、「人と緑と環境」にやさしいまち

中心部や各地域においてコンパクトで住みやすく、快適に暮らすことができる質の高い生活環境の形成を目指します。各地域をより利便性・効率性の高い交通手段でつなぎ、環境負荷の少ないネットワークを形成するとともに、産官学民連携の宇部方式による環境にやさしいまちを目指します。

また、中心部においては、若者から高齢者までが交流でき、にぎわいと魅力のある街なか空間の創出を目指します。

これらの取組を市民との協働によって進め、市民一人ひとりが宇部づくりの主角となる「人と緑と環境」にやさしいまちを目指します。

【健康福祉分野の目標】

一人ひとりが心豊かに安心して暮らすことができるまち

地域コミュニティの中に、年齢や障害の有無にかかわらず、いろいろな人が気軽に集い、共にいきいきと活動できる場をつくり、安心して子育てができ、高齢者や障害者等が生きがいを持って当たり前で暮らせるまちを目指します。

また、誰もが適切な医療を受けられ、本当に必要な医療を今後も維持できるよう、市民の理解と協力を得ながら、医療体制の充実を図ります。

そして、困った市民がすぐに接触できる医療・福祉のセーフティネットを構築します。

これらの取組を、健康福祉のネットワークを活かすとともに、教育や生活環境などの取組と連携しながら進め、市民一人ひとりが心豊かに安心して暮らすことができるまちを目指します。

【教育文化分野の目標】

豊かな自然と文化の中で、みんなが心をつなぎ笑顔で暮らせるまち

彫刻のまちづくりを進めてきた宇部の歴史を学び、彫刻に親しむことができる、独自の学校教育、社会教育の取組や、理科系の高等教育機関と連携し、多面的な物の見方や考え方ができる児童生徒を育成するための特色ある教育の取組を進めます。

また、学校教育や社会活動において、高齢者の豊富な知識や経験を活かす取組を進め、宇部市の豊かな自然や彫刻、地域の伝統文化を誇りと愛着を持って次世代に継承しながら、みんなが心をつなぎ笑顔で暮らせるまちを目指します。

【産業振興分野の目標】

農水商工が連携した地域ブランドの創出により、人も宇部もいきいきとした、にぎわいと魅力あふれるまち

第一次産業、第二次産業、第三次産業の振興とともに、第一次産業の素材を生かしながら、第二次産業の加工・技術、第三次産業の販売・PRと連携し、新たなブランド化と雇用の確保を目指します。

また、宇部市の歴史や産業遺産、彫刻、常盤公園などの地域資源を生かし、都市のイメージのブランド化により交流人口の増加を目指します。

これらの取組により、人も宇部もいきいきとした、にぎわいと魅力あふれるまちを目指します。

【行政経営分野の目標】

「共存同栄・協同一致」の理念に基づいた、市民と行政が協働で築くまち

本市は、「共存同栄・協同一致」の精神に基づいたまちづくりの基本理念を堅持し、市民や行政、その他の各主体が情報を共有しながら、協働によるまちづくりを目指します。

また、厳しい財政状況にある中、戦略的な目標に向かって各分野が連携し、「選択と集中」の観点からより効果的に成果をあげることができる効率的な行政経営を目指します。

地方分権がさらに進展する中、定住自立圏や道州制移行などへの対応を見据え、自立できる行政経営と市民満足度の向上を目指します。